

一常しく好むなり。或は俗に上と論と好談
又云耕作高木質不仕渡世と後方不分的
その為と云名を組段の組より内より一許
出奉

附用事なくして他不の意と出入りの
ありんかんと付拾子尼庵怪友子細ありハ
二是吟味奉

一喧嘩口論を押しは飛道具不可持不可

加勢奉

○二儀市仕並言江戸拂又云追放未成者
以搦く場不子臨を在に成りて拾はるるハ
早竟右脚くその与名存圍と並或志世法
いふん者ありて成る苗人因不く此仕並
て云 作付奉

一神佛祠石木像丈大ケ三尺二限并撞撞
鳥居燈籠大造成就法度本像三尺二尺

十洲のそを訴出て文彦忠事

- 一 寺院堂舎害敵方丈庫裏を外梁有る
三石と限り杉杉ハ公次丈佛檀匠の在る
三石に方と限りに方志ら庇有るを三石と限
小棟作らるへひち木作の上へ結構之を之用
そ及く是是語之作事
- 一 在くおわく探ね言芝居を非諸見せ物頼之為
停止事

一 宍町村々自芝居道具衣裳貸りとの有る
て訴出若村役人の組左舟見少道におおくハ
是及てヤ作事

一 宍町村々徳ひく場におわく書畫俳諧
遊蕩を脱れとの有る旨拵物おと死令議と
中徳系屋杯におわく會合するへ所次遊具を
借りとの有る百姓へ風俗と礼へ基へ月向後
是及位有る若借りて予て訴出事